

3 運営管理計画

(1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

1) 指定管理者としての管理運営の方針

本公園は、災害時に広域的な災害救援活動の拠点となる「基幹的広域防災拠点」として設置された、日本を代表する防災公園です。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック等を契機として、日本の文化「おもてなし」・「防災文化」が世界から注目され、期待されています。また、東日本大震災の発生や、首都直下地震、南海トラフ巨大地震等の大規模自然災害の発生が懸念されるなか、ますます「防災」への都民の関心が高まっていくと考えられます。

また、今現在も開発の進む有明地区において、本公園は都市空間における貴重な「緑の拠点」として位置しています。近隣にも大規模マンションが新規建設されており、数万人単位での人口増加が見込まれています。

私たちは、本公園の設置目的やマネジメントプランに加え、日々変化する周辺の環境を踏まえた公園づくり、多様なプログラムの実施や広報・PR 活動を拡充し、都民の憩いの空間づくりと防災力向上に寄与します。



防災訓練の様子

2) 環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取り組み

前述の方針を踏まえ、下記の内容を重点的に取り組みます。

1. 都民に愛される身近な公園づくり

様々な目的を持った本公園の利用者が安全・安心に過ごせるような環境を整備します。また、利用者が本公園に愛着が湧くような、楽しく参加できる活動をサポートします。

- 多様な利用者に向けての使いやすい公園サービスの充実
- 運動性を高めたレクリエーションプログラムによる健康増進
- 既存ボランティア活動の活性化
- 未来を担うこどもたちへの取組
- 本公園を広く知ってもらうための情報発信



詳細：3. 運営管理計画 - (5) - 2)



ボランティアによる花壇の管理

2. 適切な維持管理による快適に利用できる公園づくり

本公園は安全安心に誰もが利用できる公園であり、また、都市空間の中の貴重な「緑の拠点」として、利用者に親しまれています。さらなる利用促進のため、開花リレーの拡充や植物の健全な維持管理等で、利用者が憩い、集える空間の創出に努めます。

- 安全で安心して利用できる施設の提供
- 利用者の行動・視点にあわせた「利用者目線の公園づくり」
- 地域と連携した「憩いの空間」「緑のにぎわい拠点づくり」
- 生物多様性や環境負荷に配慮した植物管理



詳細：4. 施設維持管理計画 - (1) - 2)



有明地区の貴重な緑の拠点

3. 都民の防災力向上のための普及啓発活動

防災に関する楽しく参加できるプログラムを拡充するとともに、ニーズを踏まえた情報提供や地域の人々との交流を通じて「生き抜く力」を育む防災力向上のための普及啓発活動に取り組みます。

- ・「ぼうさいモーターショー」や「ぼうさいアスレチック」等、楽しく体験しながら『防災』についての知識や技術を学ぶ防災体験学習プログラムの拡充
- ・地域連携による公園の魅力向上



詳細：3. 運営管理計画 - (3) - 3)



参加型防災体験学習プログラム

4. 多様な自主事業サービスでさらなる魅力の向上

社会情勢や利用者ニーズの変化等に対して、より柔軟に対応し、利用者満足度を向上させるための多様な自主事業サービスを実施します。

- ・「お弁当を食べようキャンペーン」の継続等、公園の利用促進につながるサービス充実
- ・飲食に関するサービス充実による利便性向上
- ・本公園の役割や防災についての出張防災プログラムとPR活動



詳細：3. 運営管理計画 - (4) - 3)



子どもたちのプレイパーク

5. 基幹的広域防災拠点としての機能を発揮

発災時に国及び地方公共団体が協力して応急対策活動を行う「基幹的広域防災拠点」としての本公園の機能を発揮するための体制を整え、定期的な訓練や防災学習プログラムの実施に努めます。

- ・これまでの実績とマニュアルによる、迅速かつ適正な対応の徹底
- ・定期的な訓練の実施
- ・公園の機能を都民にPR
- ・国営公園との密接な連携の実施
- ・ネットワークを活用した支援・連携体制の構築



詳細：5. 基幹的広域防災拠点としての取組



定期的な避難誘導訓練の実施

(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

1) 基本的な考え方

指定管理者は公平・平等に利用者の声を把握し、業務に反映する責務があります。私たちは「公平・公正な利用者ニーズの反映」を目指し、PDCA マネジメントサイクルによる業務改善システムを取り入れた管理運営を行っています。利用者の声を的確に把握し、業務に反映することで、利用者満足度の向上に努めます。

2) 各フェーズにおける対応

①利用者の声の把握

- 利用者との対話による聞き取り、電話、HP・メール、アンケート（通常時・イベント時）等により、利用者意見・要望を幅広く聴取します。
- 毎日の対応においては、利用者と一緒にコミュニケーションを図り、対話の中から意見や要望をヒアリングして把握します。
- 利用者と一緒に交流や話し合いの場を持ち、生の声を聞くことでより良い運営に努めます。
- より多くの意見を収集できるよう、「アンケートボックス」を設置します。



②利用者の声の分類・対応の検討

- 把握した利用者の声は、「緊急性の高い要望」「管理権限内の要望」「管理権限を越える要望」に分類します。分類に応じて、都もしくは、本部との調整を図りながら、適切に対応します。

③管理運営への反映・データベース化、フィードバック

- 検討した内容を本公園の管理運営に反映します。また、利用者の声の把握から対応完了までの情報を時系列に沿って、データベース化し蓄積します。
- データベース化した内容は、従業員・委託業者職員に共有・周知し、再発防止やサービス向上に努めます。また、マニュアルの関連項目に適宜反映します。
- 利用者の声への回答や対応状況は、ご本人への連絡、ホームページへの掲載等によって利用者へフィードバックします。

3) 利用調整及び利用指導

①スタッフによる利用指導

- スタッフによるこまめな館内の巡回実施によって、いたずらやトラブルの未然防止に努めます。不正な利用や禁止行為等をみかけた場合には、その場で適切な利用方法や利用ルール等をわかりやすく説明し、利用指導を行います。
- 利用者との笑顔での双方向コミュニケーションを心掛け、利用者のマナー改善や施設の理念の普及を進めます。

②様々なご意見への対応と適切な利用調整

- 利用者の意見は、時として解決が困難な正反対の意見も寄せられます。正反対の意見があり、合意形成が得られない場合や、一部の団体・利用者の意見や利用に偏るおそれのある場合は、関係者の意見を仰いだ上で、是正措置を講じます。

4) モニタリングの実施

私たちはPDCAマネジメントサイクルによる利用者満足度向上に向けた施設の管理運営を実践してきました。また、多角的な視点からのモニタリングを実施することで、管理運営事業の運営状況や利用者の満足度等を客観的に把握し、これに基づく取り組みを充実させていくことで、継続的な改善につなげていきます。

①PDCAマネジメントサイクルによる管理運営

- 利用者の満足度向上や業務のサービス向上を目指し、施設の管理運営計画（PLAN）を策定し、効果的・効率的に実践（DO）するとともに、公正な外部評価や利用者との意見交換等によって分析・評価（CHECK）、その評価をもとに計画の見直し（ACT）を図ります。

②「3つの視点」からの自己評価

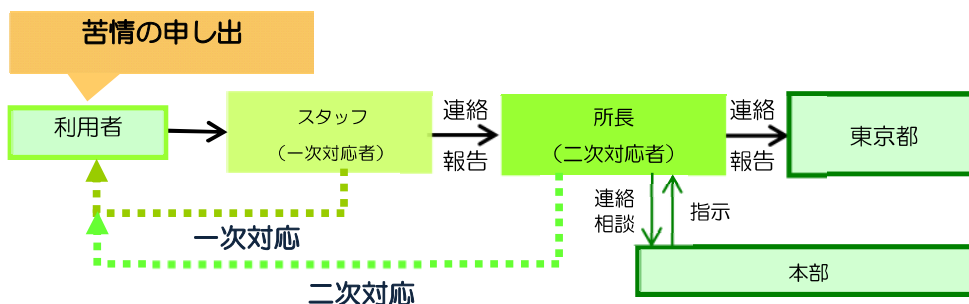
- PDCAマネジメントサイクルの『CHECK（評価）』において、①内部モニタリング（内部評価）、②利用者モニタリング（利用者評価）、③外部モニタリング（第三者評価）と「3つの視点」から自己評価を行い、結果の徹底分析と業務への的確な反映を図っています。
- 今後も、多角的なチェックによる自己評価を実施し、業務の改善につなげていきます。

5) 苦情処理

- 本公園は、多様な価値観を持つ人々が利用するため、危険な行為やモラルに欠ける行為の発生、それらが原因で起こるクレーム・トラブルが想定されます。トラブル等に対し、私たちは公平な話し合いを基本とし、マナーをわかりやすく説明して、利用者の協力・理解のもと公平な姿勢で対応し、さらに未然防止に努めます。いただいた意見のなかでも特に「苦情」については、「業務改善の重要な機会」であると捉え、相手の話をよく聞いた上で、当施設の理念や方針をわかりやすく説明し、相互理解・合意形成を進めます。合意が得られない場合は、様々な人との意見交換により、解決策を検討します。

〈苦情対応の基本的な考え方〉

1. 敬語で相手の意見・言い分を聴き、事実を確認します。同じ相手の方には窓口を一本化します。
2. 施設の目的・理念・目指すべき方向性・利用マナーなどをわかりやすく丁寧に説明した上で、言い訳をせずよく話し合います。
3. 今後も施設利用を続けて頂けるようにお話しします。



■苦情への対応

未然防止	<ul style="list-style-type: none"> • 苦情受付時に適切な対応ができるよう、スタッフ・委託業者職員に定期的な接客研修や苦情対応の実際の場面をシュミレートしたロールプレイング研修等を行います。 • 日常的に、苦情・要望への対応事例の収集・ヒアリングを通して、データベース化した内容をスタッフへ周知・共有し、迅速かつ柔軟に対応します。 • 看板や印刷物によって利用者に施設のマナーを周知徹底します。 • 利用者との双方向のコミュニケーションを心掛け、利用者のマナー改善に努めます。
発生時の対応	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者同士のトラブルは必要に応じて指定管理者が仲介し、当事者間の合意形成に努めます。 • 利用者から時として解決が困難な正反対の意見が寄せられることがあります。合意形成が得られない場合や、一部の団体・利用者の意見や利用に偏るおそれのある場合は、関係者の意見を伺ったうえで、是正措置を講じます。
再発防止	<p>本公園及び指定管理者が管理運営する他施設等において、クレームやトラブルが発生した背景や発生時の状況、現場や本部の対応、対応を通じた今後の課題等についてデータベース化して情報を共有します。また、必要に応じて研修会を開催し、再発防止策を徹底します。</p>

- 暴力的・脅迫的な苦情常習者等、私たちだけでは対処できない場合や、問題の長期化・拡大化の可能性がある場合は、都や地元関係機関との連携により、早期解決に努めます。また、「東京都暴力団排除条例」を遵守し、当法人の「反社会的勢力対応基本規程」等に則り、所轄警察署と連携して対応します。
- 本公園及び指定管理者が管理運営する他施設等において、クレームやトラブルが発生した背景や発生時の状況、現場や本部の対応、対応を通じた今後の課題等についてデータベース化して情報を共有します。また、必要に応じて研修会を開催し、再発防止策を徹底します。



ロールプレイング研修
(西東京市立公園)

(3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1) 質の高いサービス提供の考え方

私たちは、本公園の設置目的や東京都の方針をふまえ、国営公園等と連携した質の高い「おもてなしサービス」の提供や、様々な「利用促進プログラム」の実施等によって、本公園の利用を促進するとともに利用者満足度を高めます。

また、サービスの提供にあたっては、利用者との日常のコミュニケーションやアンケート等によってニーズを聴取し、社会的なニーズ等も反映しながら常に内容や質を改善させていきます。

2) サービス水準向上の取り組み

① 「おもてなし」サービスの提供

- ・利用者からのどのような要望でも、「YES（承ります）」「THANKS（ありがとうございます）」を基本とし、スタッフ全員がすべての人に対して公平・公正な姿勢を保ちます。
- ・「挨拶」と「笑顔」を基本に、ホスピタリティあふれる姿勢を常に心がけ、人と人が触れ合う「Face to Face（フェイス トウ フェイス）」のコミュニケーション型サービス提供を実施します。
- ・毎日の朝礼での身だしなみチェック・挨拶の発声練習を行うほか、接客研修（年1回）を実施し、接客マナーや苦情対応の方法を学びます。
- ・乳幼児からお年寄り、障がいを持った方や外国人利用者等、誰もが平等・公平に利用しやすい施設づくりを目指し、サービスを充実させます。スタッフによるお声かけを積極的に行い、ヒューマンサポートを実施します。



笑顔あふれる
コミュニケーション

実施内容	
共通	多目的トイレや授乳室、車いすで通れる園路等を示した「バリアフリーマップ」の作成とホームページへの掲載
	サービス内容の案内
	施設のホームページの情報適宜更新
足が不自由な方	管理事務所受付での車イスの貸し出し
妊婦・乳幼児連れの方	簡易授乳スペースの整備
聴覚・言語障がいの方	筆談具、コミュニケーションボードを配備
	スタッフが簡単な手話を習得
外国人	ニーズに合わせて広報ツールや施設内の看板、サイン等の外国語版対応
	コミュニケーションボードや携帯翻訳機の活用

② 観光客、インバウンド向けサービスの強化

- ・「ユニバーサルサービスマニュアル」に基づく研修を実施します。高齢者や障がい者の目線から、どのようなサービスが必要かということ学び、反映や充実に繋がります。
- ・言葉の不自由な方等のために「コミュニケーションボード」を管理事務所に常備し、意思の疎通が図りやすい仕組みをつくります。その他、スタッフによるヒューマンサポートや、簡単な手話の習得等、障がいをお持ちの方に配慮したサービスを提供します。



高齢者体験研修

3) 利用促進への取り組み

本公園の特徴といえる広大な園地をはじめとする各施設を活用し、より多くの方に公園をご利用いただけるような利用促進プログラムを実施し、満足度の向上を目指します。



広大な園地を使ったイベント

① 利用者の防災力向上プログラムの実施

子どもから大人まで、楽しく体験しながら「防災」についての知識や技術を学んでいただける防災学習プログラムを実施します。プログラムの実施にあたっては、当法人のもつネットワークを活かして防災関係機関や国営公園等とも連携し、内容を充実させていきます。

項目	内容
ぼうさい モーターショー	消防車やパトカー、災害対策車両等の「防災」にまつわる車を集めた展示や、起震車体験等の防災体験学習プログラム
東日本復興支援 熱気球イベント	被災地の復興支援にもつながる熱気球の搭乗体験や、熱気球教室、被災地の活動を紹介する展示等の防災学習プログラム
ぼうさい アスレチック	毛布担架リレー、バケツリレー等、親子で一緒に参加できる身体を動かす防災体験学習プログラム



ぼうさいモーターショー

② 園地の利用促進プログラムの実施

本公園の広大な園地を活用して、子どもが思い切り遊べるサービスや、健康促進につながるプログラムを実施し、利用促進に努めます。

分類	項目	内容
子育て支援	遊具貸出	園地で使えるボールやなわとび、ドッチビー等、子ども用の遊具の無料で貸出しサービス
環境学習	自然観察会	園内の「自然の小路」で、親子で一緒に自然観察するネイチャーゲーム等
健康促進	かけっこ教室	速く走るためのコツ等をインストラクターが教える子ども向けの講座



自然観察会

③ 地域とともに歩む公園づくり（地域連携・協働の促進）

協働によって本公園の花の彩りを充実させる「花咲きプロジェクト（仮称）」や、地域の団体と連携したプログラム実施等、地域と一体となった公園の魅力向上に、継続して取り組みます

項目	内容
「花満開プロジェクト（仮称）」の拡充	公園ボランティアによる花壇管理や、地域の幼稚園児等によるチューリップの球根植え付け体験、はるかのはまわり種まきイベント等を引き続き実施し、協働による公園の花の彩りをさらに充実させます。
地域連携によるにぎわいイベントの充実	地元団体や近隣施設等と連携した、多様なにぎわいイベントを開催し、地域活性化や利用促進に取り組みます。



ちびっこ相撲

④ 花による魅力ある空間「利用者目線の公園づくり」

前述の「花咲きプロジェクト（仮称）」をはじめ、都民や地域との協働・連携等による公園の花修景をより一層充実させ、彩りある景観で利用者を迎えます。また、利用者ニーズや公園の利用方法にあわせた維持管理で「利用者目線の公園づくり」を行います。



「はるかのはまわり」植付け体験

⑤ 多様な広報展開による利用促進・認知度アップ

本公園や、基幹的広域防災拠点の機能についてより多くの方に知っていただくとともに、防災に対する各種情報をより身近に感じていただくため、多様な主体と連携しながら、広報・PR活動を一層強化していきます。

項目	内容
多様な広報ツールの作成・活用	公園のHP、SNS、チラシ、パンフレットを活用し、広く発信・配布することで利用促進に努めます。
多様なメディアの活用	公共交通機関、全国・地元メディア、自治体広報などと連携し、広く公園をPRします。また、当法人のグループ企業が制作・発行する冊子やWEB等の広報ツールで、公園のイベント等を紹介します。
インバウンド向け情報発信の強化	公園のパンフレットやホームページでの英語版や中国語版の運営を行うとともに、施設の案内等のピクトグラム化を進めます。

(4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

1) 基本的な考え方

- 私たちの実績・ノウハウを活かし、本公園の設置目的を踏まえ、利用者の満足度向上のため、多様な自主事業サービスを実施します。自主事業の利益の一部を還元することによって、さらなる魅力向上と利用促進を図ります。
- 自主事業サービスの実施にあたっては、都、指定管理者、利用者・地域にとってお互いに価値のある取り組みを行います。また、利用者の安全性や公平性へ配慮し、都と十分に協議したうえで実施します。



2) 資金調達から収益還元の流れ

自主事業実施のための資金は、企業協賛・出展費、自動販売機収入、イベント参加費などによって調達します。また、それら収益については、イベント実施費やチラシ印刷など、ボランティア活動費などの公園の魅力づくりのために還元します。



自主事業イベント「ふれあい動物園」

3) 具体的な取り組みの提案

① 利用促進につなげるサービス向上への取り組み

本公園の広大な園地をより多くの方に気軽にご利用いただけるよう、園地を活用した多様なプログラムや利用促進サービス実施します。また、本公園には売店施設等がないため、園内における「食」のサービス等を充実させることで、より気軽にご来園いただけるようにします。

● 園地をより利用していただくためのサービス

項目	内容
「空と緑と防災と」キャンペーン (仮称)	防災用品のイラスト等を描いた、公園オリジナルのレジャーシートを配布し、園地の利用促進と、利用者の防災意識の向上を図ります。
ふれあい動物園	移動式動物園で、ウサギやヤギ等の動物とのふれあい・エサやり体験を開催します。
プレーパーク	園地で竹馬やビー玉遊び等の昔遊びを楽しむプレーパーク「移動式子ども基地」を開催し、小さなお子様連れの方の利用促進を図ります。
犬連れ利用の「マナーアップキャンペーン」の実施	当法人が管理運営する他公園と連携し、犬連れ利用のマナーアップを呼び掛けるのぼりの設置や、ウンチ袋の配布等を行います。



「ふれあい動物園」



「プレーパーク」

●飲食サービス充実の取り組み

項目	内容
自動販売機の増設	東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催や近隣のマンション建設等による人口増加、利用者増加を踏まえて、自動販売機の台数や、アイスクリーム等の品種充実等、サービス向上に取り組みます。
パークリビングカフェ（ケータリングカー）	イベント開催時に園内にキッチンカーを出展し、テーブル・ベンチ等を設置したオープンカフェ空間をつくることで、公園で気軽に軽食を楽しんでいただけるサービスを実施します。
食イベントの開催	「防災非常食まつり」の開催等、本公園の園地で食事を楽しんでいただけるイベントを開催します。また、被災地の食材紹介や復興活動の展示等も取り入れ、防災について知っていただく機会づくりも行います。



キッチンカーの誘致によるオープン空間の創出

② 公園や防災について知ってもらう「都民の防災力向上プロジェクト」

本公園のもつ機能や、発災時における役割を、より多くの方々に知ってもらうため、他施設や地域団体等と連携した広報・PR を実施します。公園の認知度を高めることで、より多くの方にご来園いただくよう努めるとともに、本公園の防災学習プログラムのノウハウを公園以外の場所でも展開し、都民の防災力向上にも寄与します。

●出張防災プログラムの実施

項目	内容
都立公園や防災施設等と連携した防災学習プログラムの実施	都立横網町公園等と連携して開催している「夏休み水上バスで行くぼうさいツアー」の継続や、都内の防災施設をめぐるスタンプラリー等、連携による防災体験学習プログラムを開催し、都民の防災力向上への寄与や、公園の認知度向上を図ります。
出張防災講座の実施	有明地区に新規で建設されるマンションの組合や自治会と連携し、防災士資格を持ったスタッフによる防災体験学習プログラムを行う出張講座を実施します。



都立横網町公園等と連携した「夏休み水上バスで行くぼうさいツアー」

●公園の広報・PR

項目	内容
デジタルサイネージによる情報発信	本公園の様々な情報（園内の開花情報やイベント情報、防災に関する情報）を国営公園と連携し、デジタル機器を使って、利用者に向けて発信します。
防災に関するフォーラム等での情報発信	防災に関わるフォーラムや交流会に積極的に出席し、情報の収集およびネットワーク構築に努め、本公園の紹介・PR を実施します。



「ぼうさい国体」への出張出展

(5) オリンピック・パラリンピック後も見据えた公園の魅力向上の取組

1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの影響のとらえ方、基本方針

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、国内外から多くの旅行者が東京を訪れることが予想されます。本公園が立地する有明地区では、体操・テニス・バレーボール・自転車競技等の競技会場及び近隣施設東京ビッグサイトが大会のメディアセンターとなることから、大会開催に伴って本公園へ来園される方も増加すると考えられます。

また、今現在も開発の進む有明地区において、大規模マンションが新規建設されており、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催後は、このような地域の利用者が増加することが見込まれます。

私たちは、東京や公園を訪れる方々に対して「世界一の都市・東京」に相応しい公園づくり、「おもてなし」の気持ちを込めたサービス・プログラムを提供します。また、これを契機に、公園におけるスポーツやレクリエーションの気運を高め、都民の健康促進に寄与します。

- ① 多様な方にとって使いやすい公園サービスの充実
- ② 運動性を高めたレクリエーションプログラムの開催による健康増進
- ③ 公園を広く知ってもらうための情報発信

2) 具体的な取り組みの提案

① 多様な利用者に向けての使いやすい公園サービスの充実

大会の開催に伴い、会場が設置される有明地区にも国内外から多くの方が来訪することが予想されます。多様な利用者層にあわせたサービスを実施し、どなたにでも快適で気持ちよく公園をご利用いただけるよう、公園の「おもてなし」サービスを充実させます。

●多様な利用者向けサービスの充実

分類	項目	内容
お子様連れの方	遊具貸出	園地で使えるボールやなわとび、ドッチビー等、子ども用の遊具の無料での貸出しサービス
	トイレへのベビーチェア設置	公園のトイレにベビーチェアや荷物フック等を設置し、乳幼児連れの方が利用しやすいよう配慮
	子育て支援プログラムの開催	小さなお子様連れの方が気軽に参加できる、親子での体験プログラムやプレーパーク等の充実
高齢者の方向け	わかりやすい掲示物の表示	大きな文字を使ったわかりやすい掲示物の作成・表示
	健康促進プログラムの開催	ヨガやウォーキング教室等、高齢者の方でも気軽に参加できる健康促進プログラムの定期的な開催
	ヒューマンサポートの実施	園内でお困りの方への、スタッフによる積極的なヒューマンサポートでの対応
障がいをもつ方向け	車いす貸し出しサービス	公園管理事務所に無料貸し出し用の車いすを配備
	コミュニケーション支援ツールの活用	筆記用具やコミュニケーションボード（イラストや大きな文字・写真等での意思疎通ツール）等を用いた対応
海外からの利用者向け	看板やチラシ等の多言語運営	公園内の掲示物や、パンフレット、ホームページを英語・中国語等で運営
観光客の方向け	オリジナルガイドマップの配布	駅からのアクセス方法や、近隣の施設等を紹介した観光情報も掲載したマップの配布



遊具の無料貸し出し



障がい者への対応研修

② 運動性を高めたレクリエーションプログラムによる健康増進

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、スポーツに興味を持ち、実際に参加してもらうことで都民の健康促進に寄与するレクリエーションプログラムを開催します。様々なプログラムを拡充し、スポーツ人口の底上げを図り、都民が気軽にスポーツに参加できる機会を創出します。

●本公園の園地を活用した、健康促進プログラム

イベント名	内容
パークヨガ	ヨガマットを使い、広々とした草地広場で楽しむ女性に人気のヨガ教室
ウォーキング教室	正しい姿勢の取り方や、きれいに歩くウォーキング方法、足型測定会等、公園の園路等を使ったインストラクターによるウォーキング教室
かけっこ教室	速く走るためのコツ等をインストラクターが教える子ども向けプログラム
ちびっこ相撲	地域の相撲部屋と連携し、園地でのちびっこ相撲体験や、お相撲さんとの四股(しこ)ふみ体験等、日本の伝統競技である相撲の体験プログラム



パークヨガ

③ 既存ボランティア活動の活性化

既存のボランティア「ガーデンクラブ」を発展させ、周辺住民参加型の「有明の丘ボランティアクラブ」とし、活動を活性化させます。ボランティア組織としての確立と自主自立を目標とし、支援を行います。

④ 未来を担う子どもたちの防災認定制度の導入

「防災に興味を持ち、災害に備える強い人材を育成する」ことを目的として、本公園での防災に関するクイズやスタンプラリーを活用した防災認定制度「そなえマスター(仮称)」を導入します。防災への興味・関心を深め、本公園に愛着を持てるような制度とし、何度来ても楽しみながら防災を学べる仕組みづくりを行います。

当法人が管理運営に参加する小田原市小田原フラワーガーデンでは、体験学習プログラム「アロア・ウッド探検隊」を開発し、常設プログラムとして展開しています。このプログラムは、ストーリー性のあるクイズを解きながら館内の植物・展示・見どころなどに設置されたチェックポイントを巡るセルフガイド形式の体験プログラムです。このようなプログラムを本公園でも実践し、都防災の未来を担う人材育成の場とします。



「アロア・ウッド」を楽しむ子どもたち
(小田原市小田原フラワーガーデン)

都市公園コンクール
平成 25 年度 管理運営部門
国土交通省都市局長賞 受賞

⑤ 公園を広く知ってもらうための情報発信

大会に伴い、東京には海外からの来訪者が増加すると思われます。私たちは、本公園を世界に向けて発信し、本公園の防災文化について知ってもらえるよう、海外企業等が参加するシンポジウム・学会等に年 1 回以上参加し、インバウンド誘致のための広報・PR、ネットワーク作りに積極的に取り組みます。

- 当法人が所属する企業グループでは、台湾鉄道管理局と「包括的事業連携に関する友好協定」および「姉妹鉄道協定」を締結しています。日本と台湾の「相互の観光 PR 実現」を目的とした協定締結において、本公園の様々な情報も積極的に発信して、訪日観光客の増加に取り組みます。
- 東京都および内閣府・国の要請に従い、国際フォーラムやシンポジウムなどの会合に積極的に参加し、本公園の情報発信やネットワーク構築に取り組みます。



西武鉄道の中国語(繁体字)版 Facebook
武蔵野の公園グループ掲載実績

3) オリンピック・パラリンピック後の取り組み

前述してきた取り組みについては、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催後も、適宜サービスを継続させます。利用者の動向やニーズ、周辺環境の変化などを把握しながら、より良いサービスへと進化させます。